

令和2年度（上期） 指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 都市活力 部 産業振興 室 文化振興 課

1. 基本情報

1006

施設名	伊丹市立演劇ホール（アイホール）		
施設の設置目的	市民の自由な創造活動を促進し、文化の発展に資する。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： にぎわいと活力にあふれるまち 施策目標： 個性とにぎわいあるまちづくり 主要施策： 芸術文化のまちづくり		
指定管理者の名称	公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（東リ いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数 (単位： 人)	
	指標の意味	年間の施設来館者数	
	今年度の目標値	45,000	上期の実績値 6,354

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H28	H29	H30	R元	R2(上期)	R2(通期)
	来館者数(人)	34,461	43,579	50,863	40,902	39,549	6,354	
	貸し室稼働率(%)	56	54	54	50	53	37	
	延べ事業開催回数(回)	35	46	55	44	41	13	
	延べ事業参加者数(人)	7,472	14,947	15,469	12,404	12,152	1,203	

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

	区分	平成30年度(2018)	令和元年度(2019)	令和2年度(2020) 計画	令和2年度(2020) 実績(上期)
収入	使用料収入	8,498	7,789	8,961	788
	事業収入	8,837	10,389	10,301	1,682
	その他	17,452	14,641	13,007	0
	指定管理委託料	92,227	89,465	90,315	57,863
	①合計	127,014	122,284	122,584	60,333
支出	維持管理				
	光熱水費	11,950	12,229	12,143	4,879
	清掃等委託料	21,784	22,080	22,365	9,901
	土地建物賃料	0	0	0	0
	修繕料	2,543	2,327	2,870	1,519
	運営				
	人件費	44,195	44,785	45,881	19,597
	事業等経費	37,387	31,201	32,898	3,078
	その他	6,377	6,661	6,427	3,278
	指定管理納付金	0	0	0	0
	②合計	124,236	119,283	122,584	42,252
純収支(①-②)		2,778	3,001	0	18,081

施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※ <単位:千円>		H27	H28	H29	H30	R元	R2(上期)
	市の収入	1,980	1,978	1,863	1,860	1,806	483
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	111,593	118,192	107,704	101,150	112,649	62,027
	(内、指定管理委託料)	94,067	94,108	90,826	92,227	89,465	57,863
実質経費(歳出一歳入)		109,613	116,214	105,841	99,290	110,843	61,544

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目		(具体的内容)	評価結果			
			指定管理者自己評価		施設担当課評価	
			評価	特記事項	評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	B	臨時休館中に備品のチェックを行い、手入れ・廃棄など整理を行った。 また、舞台設備の修繕や、1階のトイレを和式から洋式に更新する、手洗い水栓を自動化する、などコロナ禍に配慮した設備の整備も行った。	B	臨時休館を有効的に活用し、施設の修繕と美観維持、及び備品整理を適切に行っている。今後もコロナ禍による感染予防対策を踏まえた適正な施設維持管理業務に努めていただきたい。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	臨時休館中は窓口対応時間を縮小し、在宅勤務の導入を行い、出勤者を減らした。	B	コロナ禍により経営面及び職員の安全面を配慮し、適切な勤務体制が取られている。今後も動向に注視しつつ、適正に対応していただきたい。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	職員間でのSNSグループ設定により迅速に連絡がとれるようにしている。	B	職員間の連絡体制を強化し、緊急事態発生に対して万全を期している。今後も継続していただきたい。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	自主事業時だけでなく、共催・提携事業時においても公演団体に依頼して、ホールからの調査項目を記載したアンケートを実施してもらい、幅広い意見の集約に努めている。	A	コロナ禍により、利用者アンケートに制約がかかる状況下であり、取り組めていない。今後は実施方法を工夫するなど適切に行い、サービス向上に努めていただきたい。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A		A	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	感染症拡大防止ガイドラインに基づき、来館者の安全を優先しながら事業を実施した。	B	コロナの感染防止ガイドラインを遵守し、来館者の安全確保に努められた。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		A	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	A	コロナの影響で中止になった事業の情報、臨時休館から開館についてのアイホールの対応・コロナ対策など逐次ホームページに掲載。	A	施設におけるコロナ対策の情報発信が極めて重要となっている。個人情報の取扱いに注意しながら、情報発信に努めていただきたい。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		A	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	毎年文化庁の助成金を滞りなく受けている。	B	コロナ禍による収益の落ち込みに対し、文化庁補助金の確実なる交付に努められた。
		経理処理は、適切に行っているか。	A		A	

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「一」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	コロナ禍により収益が例年に比べ非常に低く、費用に関しては施設管理委託等を中心に固定経費が大きくかかっている。指定管理者側で費用抑制に努めながら健全な経営に努めていただきたい。又、コロナ感染予防対策に関しても、継続して努めていただきたい。
総合評価	
B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「A」＝良好である又は成果があった。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】令和2年 月 日～令和2年 月 日

実施の有無	主な回答	主な対応
無し	新型コロナウイルス感染防止の観点より実施していない。	—
回答者数		
—		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置